

徳島大学版ティーチング・ポートフォリオ・チャート作成ワークショップ

吉田 博 (徳島大学 高等教育研究センター)

1. はじめに

徳島大学では2011年度より、「ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ(以下、TPWS)」を実施(計画)している。ティーチング・ポートフォリオは、自らの教育活動を振り返り、その活動について記述された本文と、これらを裏づける根拠資料から構成される記録のことである¹⁾。徳島大学におけるTPWSでは2017年度までに27名が参加し、参加者の満足度は非常に高く、教育改善に有効的であることが示されている²⁾。しかし、例年参加者が少なく、2018年度以降は、キャンセルや参加申込がないなどの理由でワークショップを開催することができていない。

参加者が少ない要因の1つに、TPWSが連続した3日間のワークショップであることから、参加する時間を確保できない、参加の負担が大きいという声が挙げられている。徳島大学におけるTPWSは、ティーチング・ポートフォリオの質保証を目的にティーチング・ポートフォリオ・ネットワークが作成した「TP作成ワークショップ基準」³⁾に準拠している。これにより、参加者が作成するティーチング・ポートフォリオは、我が国において質が保証されたものとして認められている。したがって、単純にワークショップの時間を短縮したり、作成期間を分割して実施することができないと言える。

近年では簡易版のティーチング・ポートフォリオを開発し、普及していこうとする動きが見られる。その1つに、ティーチング・ポートフォリオ・チャート(以下、TPチャート)を挙げることができる。TPチャートは、東京大学の栗田佳代子氏、吉田墨氏によって開発されたものであり、ワークシートを活用して2時間程度で、具体的な実践から自身の教育に対する理念を明確にし、成果や課題、今後の目標を設定するものである⁴⁾。

徳島大学においても簡易版のティーチング・ポ

ートフォリオの導入を検討し、学内教員が取り組む必要性や位置づけも考慮した。徳島大学では、2018年度に「教育の質保証に関する方針」(一般的にいうところのアセスメントポリシーにあたる)を策定しており、その中で「科目担当教員は、それぞれの学位プログラムにおける担当科目の位置づけを理解し、意図する学習成果(到達目標)の達成状況及び、到達度を指標として自ら行う授業評価及び学生による授業評価結果に基づき、(中略)授業改善に努める」ことが明記されている。したがって、各教員は根拠資料に基づき授業評価、改善に取り組む必要があり、簡易版のティーチング・ポートフォリオを作成することは、これらの取組に関連するものといえる。

2. 徳島大学版 TP チャート

徳島大学では、教員が授業実践を振り返り、評価、改善を行うことを支援するために、栗田佳代子・吉田墨・大野智久(2018)『教師のためのなりたいたい教師になれる本!』に紹介されているTPチャートを参考にして、授業実践に焦点を当てた「徳島大学版ティーチング・ポートフォリオ・チャート」(図1,2)を作成するためのワークショップを開催することとした。

これまで、2018年度、2019年度は対面で、2021年度はオンラインでワークショップを開催し、参加者からは授業の振り返りができたことや日常の取組を可視化できたという意見が挙げられ、有意義であったことが示されている(図3;2021年度WSの参加者アンケートの結果)。しかし、簡易版であっても参加する教員は少ないのが現状である。今後は、教員がワークショップの内容や意義を理解できるように広報活動を行うことに加え、教員の教育業績に関する評価と関連させるなど、教員が教育実践を振り返るように、組織的な取組を行うことが重要であると考えている。



図1 徳島大学版 TP チャート

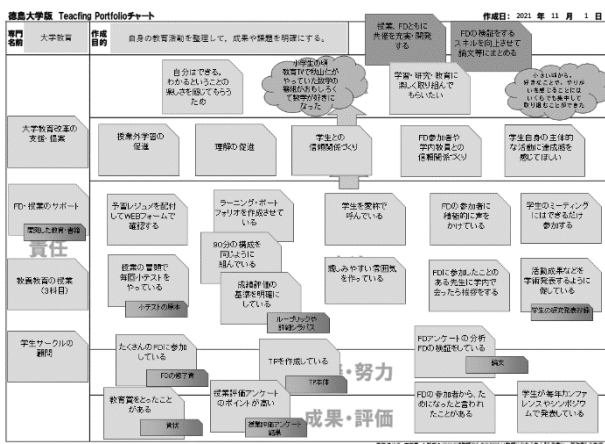


図2 徳島大学版 TP チャート (サンプル)

3. 本ワークショップ (WS)

本WSでは、参加者が「徳島大学版 TP チャート」の作成を通して、授業実践の振り返り、評価、改善に繋げることを目的とする。なお、本カンファレンスがオンラインで開催されることから、参加者はZoomに接続し、自身のPC上でTPチャート(パワーポイント)を作成し、画面共有などを行

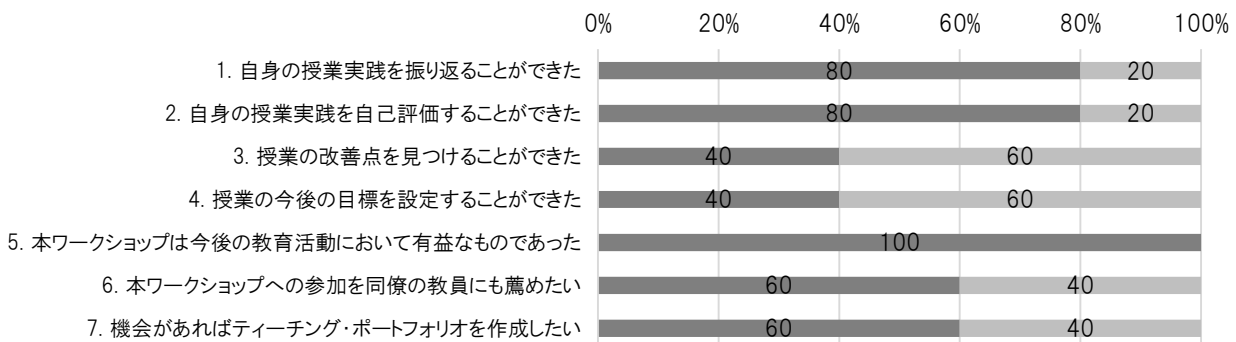
いながら、作成した TP チャートを参加者同士で共有する。また、WS終了時に参加者アンケートを実施する予定であり、本チャート、及びWSに対するご意見をいただきたいと考えている。

今回、担当する授業に焦点を当てて TP チャートを作成することを想定しているが、教育活動全般を取り扱うことや、その他の教育活動(課外活動の支援やFD実践など)に焦点を当てることもできるため、**担当する授業がない場合でも参加可能**である。また、**参加に関する事前登録は不要であり、多くの方の参加を期待したい**。Zoomのアカウント情報は、以下のサイトで2022年1月5日以降に公開する。

<https://www.tokushima-u.ac.jp/highedu/reform/univ/index.html>

参考文献

- 1) ティーチング・ポートフォリオ・ネット「ティーチング・ポートフォリオとは？」
<http://www.teaching-portfolio-net.jp/about/> (2021.11.1)
- 2) 吉田博・上岡麻衣子(2018)「ティーチング・ポートフォリオの作成意義と普及に向けて」、平成29年度大学教育カンファレンス in 徳島発表抄録集、22-23。
- 3) 大学評価・学位授与機構(2014)「ティーチング・ポートフォリオの定着・普及に向けた取り組み」。
- 4) 栗田佳代子・吉田壘・大野智久(2018)『教師のためのなりたいたい教師になれる本!』、学陽書房。



■4. とても当てはまる ■3. どちらかといえば当てはまる ■2. どちらかといえば当てはまらない ■1. まったく当てはまらない

図3 2021年度に実施した「徳島大学版 TP チャート作成WS」参加者アンケート結果 (n=5)

ワークショップ